

パブリック・サービス研究分科会 11月分科会 「私立大学協力による共同保存図書館設置の可能性」研究グループ報告書	
日時	2009年11月9日(月)
場所	慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
記録	中島 (桜美林大学)
参加者	植苗(中央大学)、塩瀬(女子栄養大学)、山口 (実践女子大学) 中島

前回までの進捗状況

- ①前回の蔵書の学外別置状況に関するアンケートの集計と考察について検討した。
- ②追加アンケートとして共同保存図書館が実現した場合、期待する機能やサービスについてのアンケートを作成し、配信することとした。
- ③12月の発表の準備として論文の簡単な章立てから要旨案を作成した。
- ④要旨を作成していくなかで内容の確認をしていく作業をすすめた。
- ⑤共同保存庫モデルの提案ではそれぞれが考えるモデルを提案し、実際の運用システムや施設、サービス、物流システム、将来構想等について話し合いを行った。
- ⑥パワーポイントの作成の準備段階として簡単なものを作成した。

今回の作業内容と決定事項

- ①発表要旨の修正を行った。
 - ・内容についての確認
 - ・書庫を「図書館」と言葉の統一をはかる
 - ・テーマタイトルを正式に決定

発表要旨は以下の通り

- 1) 問題意識
- 2) 研究の手法
- 3) 書庫の狭隘化の現状と共同保存書庫に求められる機能に関するアンケート
- 4) 先行研究・先行事例の調査と分析
- 5) 日本での共同保存図書館モデルの提案

以上のように要旨をまとめた。

- ②要旨に沿ったパワーポイント作成のための確認作業を行った。
- ③発表リハーサルを行った。(発表時間の調整と質疑応答)

次回までの課題

- ・パワーポイントの完成
- ・加藤先生にご助言いただいた提案（ラーニングコモンズ等）について
- ・報告書作成の分担作業についての確認

(以上)